

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	玉井 操
主な担当科目	学習指導論 A,学習指導論 B,教科教育法(音楽)① A,教科教育法(音楽)① B,教科教育法(音楽)① C,教職論 A,教職論 B
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	本学の教育理念に鑑み、社会に求められる有用で魅力的な人材を育成することを目標に努めてきた。特に、教職を目指す学生に対し教職に関する授業を担当し、試行錯誤ではあるが教材研究を綿密に行い、学生一人一人に寄り添った授業を展開することに努めた。
2024年の教育に関する自己評価	初年度であるため試行錯誤の繰り返しであったが、担当する授業の実施のために授業研究、教材研究に力を注ぎ、また自らの授業の検証を積み重ね、自己の役割を真摯に努めてきた。また、教職課程の担当として、教育実習生の実習校を訪問し(6校)、研究授業を視察し、本学の実習生に対して指導、助言を丁寧に行うとともに、夏季休業中は教員採用試験の2次試験に臨む学生に対し、実技指導及び面接指導を繰り返した結果、現役で10名の合格者(令和7年度正規採用者)を輩出することができた。
2024年のFD活動に関する自己評価	FD合同研修(4/1、9/10)、芸術特別研究分科会FD(7/18)、基礎ゼミ分科会FD(4/30、7/16)、資格課程分科会FD(4/1、9/10)に参加し、本学の自己啓発と自己開発への取組みを理解した。、基礎ゼミ分科会FDでは、テキストの形式、内容及びレポート作成でのAI使用、プレゼンのあり方等についてグループ討論を行い、それらを全体で共有したことは今後に向けての収穫となった。
授業改善のために取り入れた研修内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・FD合同研修において、本学の経営、運営方針を理解し、自分がどんな貢献ができるかについて熟考し、学生の成長に資するような授業作りを目指した。</li><li>・資格課程分科会FDにおいて、教員免許取得のために必要な本学の教職課程の科目を理解し、学生の計画的な履修の仕方について研修するとともに、新カリリに向けた履修科目の設置について理解した。</li></ul>

## 2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3678 教員名:玉井 操

### ○「教科教育法①A・B・C」について

#### 1) アンケート結果に対する所見

講座によって評価の数値が異なっている。総合的満足度(Q10)を見ると、肯定的(そう思う、少し思う)の合計は、3講座とも100%であるが、「そう思う」だけを見ると、Aは33.3、Bは100、Cは66.7と数値に差が表れている。

#### 2) 要望への対応・改善方策

特に要望は挙がっていない。

#### 3) 今後の課題

学生が授業に対して興味関心をもって出席できるよう、授業内容及び課す課題の内容について検討を重ねたい。

### ○「学習指導論A・B」について

#### 1) アンケート結果に対する初見

すべての項目で全体平均の数値とほぼ同じであるか若干上回っている。Q5、Q6について若干全体平均を下回っている。

#### 2) 要望への対応・改善方法

要望は挙がっておらず、模擬授業の実施や一人一人の学習指導案への指導助言を行ったことが高評価されている。次年度も個別対応を充実させたい。

#### 3) 今後の課題

学生が授業に対して興味関心をもって出席できるよう、授業内容の精選と学生に課す課題について検討を要する。

### ○「教職実践演習」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」について(4名で担当)

#### 1) アンケート結果に対する初見

教育実習の事後指導等、実践的な授業内容のため満足度が高く、高評価されている。

#### 2) 要望への対応・改善方法

特に要望は挙がっていない。

#### 3) 今後の課題

引き続き教職課程担当教員の連携を保ち、学生の教育実習を円滑かつ効果的に進める。

以上